

千秋病院見学会

医療系の進学を目指す高校生を支援

7月27日と8月17日

に、医療系の学校に進学を目指す高校生を対象にした病院見学会を実施し

ました。診療にまつわる検査やバックヤードの見学、手術室でガウン着用、手洗

いの重要性を解説。さらに、メイン会場で基本的生命支援や栄養指導、理学療法士による介助機器や車椅子を使用した実践体験など、多彩なコースを用意しました。



「自分が興味のある専門職の人から直接話を聞くことでイメージができた実践体験など、多彩なコースを用意しました。参加者からは、「自分が興味のある専門職の人から直接話を聞くことでイメージができた実践体験など、多彩なコースを用意しました。」

「手術室に入ることができて興奮した」「体験してみたい仕事が大変なのが分かったけれど、頑張ろうという気持ちになった」と好評でした。

このイベントは、医療現場に興味を持つ高校生がリアルな医療体験を通じて将来のキャリア選択について考える機会を提供することを目的として

います。今後もこのような取り組みを通じて、未だの医療従事者の支援をしていきます。千秋病院 師長室 沢田 美名

特別な人ではない。少しの手助けがあれば認知症になっても認知症になる前と同じように過ごすことができる」「認知症になっても気持ち(感情)は残る」の2つが伝わるような内容にしました。講義中は積極的に発言する子、持参したノートに必死にメモを取る子、紙芝居や大塚さんの話を真剣に聞いていた子など、みんな熱心でした。



おきたい医療知識と健康生活習慣

糖尿病シリーズ② 急性合併症に注意

千秋病院 内分泌・代謝外来 内科 山田 ゆうひ

糖尿病には急性と慢性の合併症があります。「ペットボトル症候群」は、甘い飲み物(清涼飲料水、スポーツドリンクなど)を大量に飲むことによって急激な血糖値が上昇して引き起こされる急性の合併症です。「清涼飲料水ケトアシ」とも呼ばれます。主な原因は炭酸飲料やスポーツドリンク、ジュース、甘いコーヒー紅茶を多量に摂取することで

多量に砂糖が含まれており(表)、血糖が上昇し、高血糖になるとさらに喉が渇きさらにそれらを飲んでしまうという悪循環になります。高血糖が続くとインスリンの働きが悪くなり、血糖を下げる事ができなくなりブドウ糖をエネルギーとしてうまく利用できなくなってしまうます。また、高血糖が続くと口渇、多尿、倦怠感、

暑い時期は熱中症予防のため、水分を多く摂取される方も多いかと思えます。熱中症予防には喉が渇く前のこまめな水分摂取が大切です。基本、水やお茶にしていただき、必要に応じて塩分補給や経口補水液(スポーツドリンクに比べて砂糖が少ない)の摂取をご検討いただくといいでしょう。

また、ペットボトル症候群まではいかないまでも、夏場の清涼飲料水摂取により血糖コントロールが悪化することがよくありますので、糖尿病の方にはご注意ください!

暑い時期は特に注意を！ ペットボトル症候群

【500ml中の砂糖の量】

炭酸飲料水	角砂糖10~16個
スポーツドリンク	角砂糖5~8個
果汁100%ジュース	角砂糖12~15個



暑い時期は熱中症予防のため、水分を多く摂取される方も多いかと思えます。熱中症予防には喉が渇く前のこまめな水分摂取が大切です。基本、水やお茶にしていただき、必要に応じて塩分補給や経口補水液(スポーツドリンクに比べて砂糖が少ない)の摂取をご検討いただくといいでしょう。

困っている人には声をかけたい 小学生認知症サポーター養成講座

「誰もが認知症の知識を持ち、ちょっとした工夫や気づきがあれば認知症への恐れや偏見をなくせる」。そして「認知症になっても、その人らしさを尊重し、住み慣れた地域で共に暮らしていける」「そんな考え方が多世代に広まったら

いいな」。そんな思いから、小学生のための認知症サポーター養成講座を8月1日、千秋病院市民健康教室で3~6年生を対象に開催しました。参加者は小学生14名と保護者6名の20名でした。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は



家庭介護のためのハートフルケアセミナー

千秋病院市民健康教室

7月19日、「家庭介護のためのハートフルケアセミナー」を開催しました。テーマは「認知症の方の基礎理解とケア」で、特定医療法人楠会の介護

老人保健施設サン・くすのき、有料老人ホームくすのき苑八龍の介護統括マネージャー清水幸一さんを講師に迎えました。当日は、数分前のことを忘れてしまうなどの認知症、認知症の進行について、また、できないことや間違っていることを否定しないといった介護者が注意することなど、認知症について詳しく学びました。

その後の交流会では、日ごろ家庭で介護されている参加者の悩みや接し

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

方への対応について講義。認知症当事者協力のもと、愛知県作業療法士会が作成した紙芝居や認知症〇×クイズを実施、10年前に認知症と診断された大塚晴夫さんから当事者の声として講話をいただきました。

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

小学生向け講座のため、集中力に配慮し10分講義内容や担当者を代え、「認知症の人は

交流会で思いを共有

交流会で思いを共有

交流会で思いを共有

交流会で思いを共有

家庭介護のためのハートフルケアセミナー

歌唱や手の運動などを組み合わせた認知トレーニングを体験できます

■日時 9月18日(水) 14:00~16:00

■会場 一宮研伸大学看護学部1号館1階第3講義室

■定員 30名(先着順、申込締切9月11日)

■受講料 無料

■受講対象者 ご家庭で介護されている方、されていた方、介護に興味がある方

問い合わせ・申し込み
一宮市地域包括支援センターまちなか
☎0586-85-8672 (平日9~17時)